# 経営対策セミナーで 自身の強み、社員の強みを知る

## 愛知県管工機材商協組 明日からの社業に活かせるセミナー

セミナー開催中の様子

愛知県管工機材商業協同組合（理事長＝峰澤彰宏氏・MINEZAWA社長）経営対策部会（部会長＝福元良貴氏・山信社長）が主催する「経営対策セミナー」が2月25日午後3時より、名古屋市中村区の愛知県産業労働センター・ウイングあいちで開催された。当日は組合員や賛助会員ら、およそ30名が参加した。『自分と従業員の〝強み〟を理解してビジネスを飛躍させるタイプ診断方法』と題した今回のセミナー。インプルーブ（所在地＝名古屋市中区丸の内）社長の大畑祐貴氏が講師を務めた。福元部会長は本セミナーを企画するにあたり、「経営者にとって重要な要素である〝情報〟〝ヒト〟〝モノ〟〝カネ〟の4つの視点で、経営に対するストレスから解放され成長を始められるセミナーを経営対策部会では考えています。経営者の方だけでなく、役職者、従業員の方にもご参加いただけたらと思います」とコメントしている。

講師を務めた大畑祐貴氏

小川誉之副理事長（小川管商社長）から冒頭、「経営対策部会のセミナーはコロナ禍で何年かできなかったのですが、昨年から復活し、今年もこのように開催することができました。今回は大畑祐貴先生の『自分と従業員の強みを理解してビジネスを飛躍させるタイプ診断方法』と題したセミナーですが、皆さんの社業にきっと役立つものと思いますので、今日はしっかりと学んでいただいて明日以降に役立てていただければと思います」と挨拶があり、およそ1時間30分のセミナーがスタートした。

社業が伸び悩んでいる原因のひとつに経営者自身の強み、部下や後輩の強みを理解できていないことが比較的多く見受けられるとのことから、自身や部下の〝強み〟の診断方法と、普段の業務への〝強み〟の活かし方が大畑氏から参加者へ、グループディスカッション等を交えながらレクチャーされた。

講義を終え、村井善幸副理事長（経営対策部会担当／オータケ会長）は「今日は大変勉強になりました。人にはいろんなタイプが居ますが、タイプの違う人達とどう向き合って、その人達を最大限活かせる対応を見出すことが非常に重要だと実感しました。どうしても自分の考えを押し付けてしまいがちですが、これからは自分も含め若手社員達のタイプを理解し、相手に寄り添って、接し方を変えていく必要があると感じました。昨今はどこの会社さまも採用が難しいと思いますが、せっかく入ってくれた社員と同じ方向を見て社業を進めていくためにも、今日学んだことを明日からさっそく実践していきたいと思います」と感想を述べていた。

# 3月21日は『バルブの日』 新たな中間計画を羅針に

## 日本バルブ工業会 80周年に向け

西岡利明日本バルブ工業会会長

日本バルブ工業会（会長＝西岡利明氏・SANEI社長）は、その創立日である3月21日を『バルブの日』と制定し、バルブ・水栓産業の進歩発展、満足度や地位の向上を目指して日々活動を続けている。2025年3月21日、西岡日本バルブ工業会会長より以下のコメントが届いたので紹介する。

◇

日本バルブ工業会も昨年3月で70周年という節目を迎え、次の80年に向け新たなスタートを切っています。

『V80 STAGE I From Now 70th』～会員の期待以上に満足度の高い工業会を目指して～

①サステナブルなバルブ業界へ
②次世代人財育成と働きやすい職場へ
③情報・事業の活性化による認知度・満足度向上
④業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上、を新たな中期計画とし、2024年度～2026年度をSTAGEI、その後STAGEII、STAGEIIIへと進化させ80周年への羅針とします。各項目とも非常に重要で、当工業会が社会の一員として大いに貢献出来ればと思っています。

いよいよ4月13日から大阪関西万博が開催されます。世界中から来日される方々が日本の都市・文化に触れられ感動を共有して貰えるまたと無い機会になると思います。当工業会は流体制御により社会インフラの要の役割を担っています。諸外国の方々にもその快適で便利な公共施設を享受して頂きたいものです。当工業会のメンバーの中にも大阪関西万博に多数提案・協賛されています。私としても、大阪関西万博が盛り上がる事を期待しています。

最後に、日本バルブ工業会を取り巻く全ての方々の、ご健勝を心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

バルブのイメージキャラクター「ばるちゃん」
©一般社団法人日本バルブ工業会

# 2024年度事業について 準備進捗状況の確認など

## 愛機工青年部 2月度役員会開催

愛知県機械工具商業協同組合（理事長＝水谷隆彦氏・ミズタニ機販社長）の青年部（部長＝滝澤有一氏・松本商店社長）は2月14日、名古屋市中区金山の個室居酒屋牛煌（GYUOU）金山本店で2月度役員会を開催。青年部役員ら10名が出席した。この日、愛機工青年部2024年度の、残る事業の進捗状況等について以下の審議・報告がなされた。

各事業の準備進捗状況を確認

【議事1／日帰りバス旅行・レクリエーションの準備進捗状況について（厚生担当）】3月8日開催（本紙発行時、開催済み）『大井川鉄道に乗って大井川の絶景を満喫！&いちご狩りバスツアー！』について役員会当日現在、定員80名に対して参加申し込みは75名。（最終的に定員80名に達した）

【議事2／講演会の準備進捗状況について（教育担当）】名古屋市中区金山の名古屋都市センター会議室にて、2月28日午後6時30分より午後8時30分までの約2時間にわたり開催。菅野祥一氏を講師に招き、ハラスメント対策について学ぶ（本紙発行時、開催済み）。

【議事3／組合野球大会の運営サポートについて（総務担当）】3月15日に決勝戦を迎える組合野球大会について、決勝戦運営サポートに愛機工青年部の厚生・教育・総務の各部から2名ずつ参加することが確認された。サポートメンバーは各部ごとで選出されることとなった。

以上で議事審議ならびに報告は終了した。青年部の次回役員会は4月15日、組合事務所での開催が予定されている。

# Digital E3 Core シリーズ 「エッジAIボード」

## DMG森精機 工作機械に搭載

DMG森精機（社長＝森雅彦氏、東京本社＝東京都江東区）は、グループ会社のDMG MORI Digital（社長＝鈴木祐大氏、本社＝札幌市厚別区）が新たに開発したDigital E3 Coreシリーズ「エッジAIボード」を工作機械に搭載すると発表した。

Digital E3 Coreシリーズは「Embedded」「Edge」「Extensible」を実現する組込CPU基板シリーズ。「エッジAIボード」は、カメラでの撮影とAI処理が可能な小型・省電力の組込CPU基板だ。工作機械に代表される振動、加工熱、オイルミスト、電磁波ノイズなどが発生する厳しい環境条件でも動作する高い信頼性を実現している。またファンレスかつ小型で設置しやすく、さまざまな環境に設置可能だ。

まずは、同社の「AIチップリムーバル」へ順次搭載が開始される。AIチップリムーバルは、AIを用いて工作機械の加工中に発生する切りくずの堆積状況を分析、切りくずを自動で効率的に除去することで機械停止や加工不良を軽減し、自動化システムの生産能力を最大限に発揮できるようにサポートする製品である。従来は別置きの産業用パソコンと専用のモータ制御基板を用いてAI処理とクーラントノズル駆動制御を行っていたが、今回開発されたエッジAI組込プラットフォームをベースとした組込基板に置き換えられる。これにより、産業用パソコンおよび各種電装機器を内蔵した大型の電装ボックス等の別置き設置が不要となり、工作機械の制御盤内に設置することが可能となることから、省電力・省スペースを実現してくれる。

主な特長は以下の通りだ。①高性能CPUとAI専用アクセラレータを搭載。②組込カメラに対応。③環境を選ばず設置可能。④多彩なインタフェース。

本製品に関して詳しくは、同社ウェブサイトへアクセスを。

AIによる切りくず堆積状況の分析